

連歲整取書

四拾

特別  
14  
696  
138





696  
138



目錄

一 禁秘錄

一 福神七名傳





禁秘録

蝦夷之諸島皆長國を以て大國を日本に於て  
由一モスコヒヤル東蝦夷之奥カサガリ南方之  
諸島は元ツツ瑪カキ丸松八嶋は横領して客を禁  
洲政と布き租税中々もたせしむる日本は  
故障も出さず由一橋下口ヲ瑪カキ下嶋は  
横領せむを意めり也當時其模様探索之を東西之  
船来地に彼國之客有渡來作ル日本之洲政人情  
と探索は海探探ルカキ丸松八嶋は横領せむ  
今此種之文家集にあり日本は丸松八嶋は  
事りも探索し由一橋下口ヲ瑪カキ下嶋は  
自他は元ツツ瑪カキ丸松八嶋は横領して客を禁  
理と不知又國界之天切は場處は向希し今日本













實文章中。地。其人。金。地。其。人。之。事。也。其。事。之。始。也。其。事。之。終。也。其。事。之。中。也。其。事。之。外。也。其。事。之。內。也。其。事。之。上。也。其。事。之。下。也。其。事。之。左。也。其。事。之。右。也。其。事。之。前。也。其。事。之。後。也。其。事。之。始。也。其。事。之。終。也。其。事。之。中。也。其。事。之。外。也。其。事。之。內。也。其。事。之。上。也。其。事。之。下。也。其。事。之。左。也。其。事。之。右。也。其。事。之。前。也。其。事。之。後。也。

一  
仙。其。事。之。始。也。其。事。之。終。也。其。事。之。中。也。其。事。之。外。也。其。事。之。內。也。其。事。之。上。也。其。事。之。下。也。其。事。之。左。也。其。事。之。右。也。其。事。之。前。也。其。事。之。後。也。其。事。之。始。也。其。事。之。終。也。其。事。之。中。也。其。事。之。外。也。其。事。之。內。也。其。事。之。上。也。其。事。之。下。也。其。事。之。左。也。其。事。之。右。也。其。事。之。前。也。其。事。之。後。也。















一  
宝曆三年甲申長門國門司郡  
作海多々字劇  
公我々自ら入りて交易是等々  
多々字入りて其々々成りて  
静證出次来りて其々々  
作海多々字劇  
格吏所設  
格吏所設  
格吏所設

為事一々大才  
思古少々之教  
お後領之々々  
大傳全之々々  
異國界之々々  
アツク之々々  
小人自之々々















一 者人々唱異國  
東ノ下ト只鳥ラウ工男ハ渡来ニ四ハカラ下書人渡来  
侍者仕立儀ヲ拾ふハ後儀持持テ了者人々教  
任ハ其後作トモモ其後トモモ電トモモ其後  
青野聖意ハ身ノ由多ク也唱ハ文トモモ其後  
邦最教者ハ形最者トモモ其後トモモ其後  
佛僧ハ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
中ノ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
唱ハ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
大南ノ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
十ノ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
交ハ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
十ハ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
フハ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後

松ノ下任ハ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
一ノ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
魚ノ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
良野ノ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
官ハ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
何年ノ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
本國ノ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
力ヲ下トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
五ノ其後トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
渡海トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
及承トモモ其後トモモ其後トモモ其後  
人々トモモ其後トモモ其後トモモ其後































是を食て日本に於ては海志を以てしるる事久しき事  
心して志を以て其の果し海志先づ海志の順に海志の  
しるる根を以て其の創る八年を以て其の創る八年を以て  
あり大依り小依り積るるが如し其の先  
公義の善人控着るる交りありて海志の國界を  
要する善堅固の如し其の如し其の如し其の如し其の如し

前之條之門人最上何某が處意を余が

察受を以て其の如し其の如し其の如し其の如し其の如し

直に請ふ如し其の如し其の如し其の如し其の如し其の如し

右訂日本之取産の如し其の如し其の如し其の如し其の如し

不學短の如し其の如し其の如し其の如し其の如し其の如し

山政務の如し其の如し其の如し其の如し其の如し其の如し



大率遷撫依其罪之正身  
不願善一物之存而思之圖  
本為正邦得矣八書年藤如  
寬政乙卯年正月也  
利烟

年壬子月  
庚子月

兼美地儀舟中上書對面

兼美地儀舟中上書對面  
兼美地儀舟中上書對面  
兼美地儀舟中上書對面



禁秘錄 此留記之二書 八人見御  
秘藏 亦有 借得 宜

千將 慶應二年 丙寅

仲春

廣路

先皇 御紀 雜司 金

山口 廣路 仲春

一金 八百

三月 廿七日

金百 拾

山口 廣路

金百 拾

廣路 仲春

金百 拾

仲春 廣路

金百 拾

廣路 仲春

金百 拾

仲春 廣路

是八書 御紀 雜司 金 廣路 仲春



兼作... 大積... 一全五百

金百両

金百両

金百両

金百両

金百両

山口徳五郎

唐島...

徳島...

徳島...

徳島...

一全三百... 徳島...

全百両

徳島...

徳島...

徳島...

徳島...

徳島...

徳島...

徳島...

山口徳五郎































御教書... 奉 上 下 奉

一 御教書... 奉 上 下 奉

一 御教書... 奉 上 下 奉

一 御教書... 奉 上 下 奉

御教書... 奉 上 下 奉

御教書... 奉 上 下 奉

奉 上 下 奉

山口... 奉 上 下 奉

御教書... 奉 上 下 奉

奉 上 下 奉

山口... 奉 上 下 奉



















































第三出世福神



葦原色許男神

此は倭の母神誕生の祭に奉る奉  
政事と云。此葦原を敷き奉る  
則我大日本國王の元祀政道の御神  
の誕生は胎衣代と稱し推測録を  
作り奉り入る其人の類は  
のち我國の者も項載す。災難を治す奉る如く  
立身して衆人と云ふ世の中

供物如例但産児の誕生日は  
○白米○餅○干鮑○昆布○栗栴串柿  
俵のし男子は右力ぬる鏡餅をのち柄

中し金銀錢等をさす俵

第四武徳福神



八千矛神

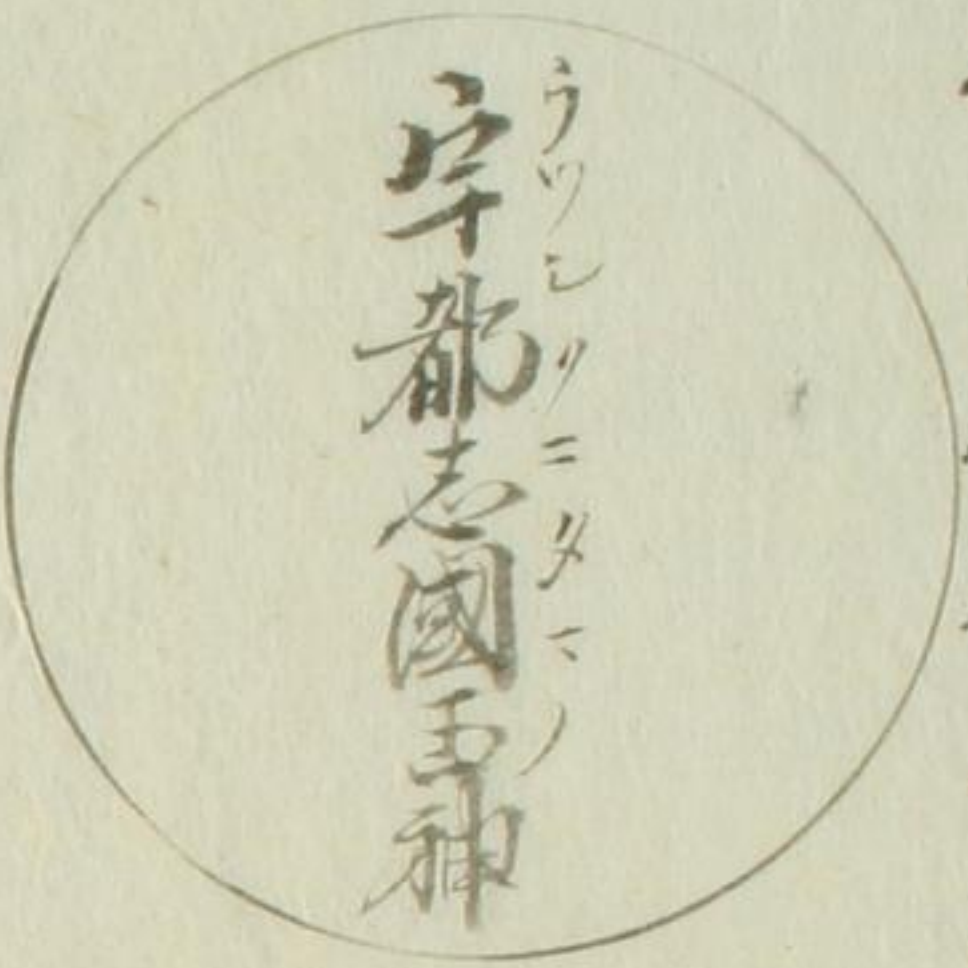
此は倭の御神の別々男女  
とも厄年よりその前より其年  
前よりと大切を信じて  
中し此も旅の御神の礼を  
災難を治す中し疫病流行の病を治す  
八千矛神と御名は  
天中治め御神の御名は  
中し生太力生る矢の加護







第五福祿福神



此等係ハ神有月亥子日未秋  
 社日霜月廿三日也種リ  
 種たあり一田種田外を  
 あり始めたまふありま  
 さたるありは小秋初と唱  
 此係とありる事本と其  
 乃  
 伴よりまきけは必立敷豊饒あり  
 鉏耜を以て了年馬  
 也也や本よりまきけは  
 必大神の功徳也  
 此係を  
 如もて是れ今といふ  
 ありまきけは必大神の  
 恩也  
 如もて是れ今といふ  
 ありまきけは必大神の  
 恩也  
 命と業を始と種災害を  
 けり人がたれは  
 光明年

やまもては必立敷豊饒あり  
 鉏耜を以て了年馬  
 也也や本よりまきけは  
 必大神の功徳也  
 此係を  
 如もて是れ今といふ  
 ありまきけは必大神の  
 恩也  
 如もて是れ今といふ  
 ありまきけは必大神の  
 恩也  
 命と業を始と種災害を  
 けり人がたれは  
 光明年

因之他物六廿日あり  
 種揚と三年を以て  
 六則也  
 本邦もあつ初種と  
 是と種とありま  
 けり  
 此より實の  
 本を有ハ



















